

平成27年6月29日

中央環境審議会自然環境部会自然公園等小委員会（第30回）

国立公園事業の決定・廃止・変更案件 に関する説明資料

決定：105件 / 廃止：97件 / 変更：9件

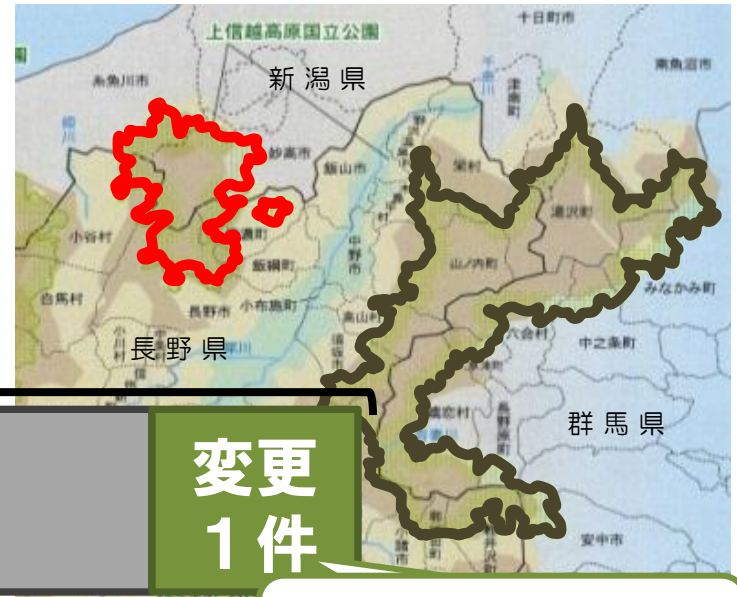
妙高戸隠連山国立公園 の分離独立に伴う整理

上信越高原

98件

廃止 97件

変更
1件



妙高戸隠連山

94件

中部北陸自然歩道
(削除と新規決定)

単純廃止
4件

スライド決定
84件

○集
5件

統合
4件

決定
1件

新規決定
4件

整備予定なし

- ・飯縄山南麓宿舎
- ・菅川排水施設
- ・野尻湖西部排水施設
- ・野尻湖西部水族館
(現存施設なし)

単独施設から○集への振替

- 【いもり池集団施設地区】
池ノ平園地、博展→いもり池園地、博展
- 【戸隠集団施設地区】
戸隠越水・戸隠中社・宝光社宿舎→戸隠宿舎
宝光社中社線歩道→戸隠歩道
戸隠中社駐車場→戸隠駐車場

中部北陸自然
歩道への振替

- ・越水ヶ原牧場線歩道
- ・笹ヶ峰戸隠牧場線

公園計画変更

- ・弥勒新道線歩道
- ・天狗原奥西山線歩道
- ・赤倉山南麓線索道
- ・赤倉山南麓園地

妙高戸隠連山国立公園

弥勒新道線道路（歩道）

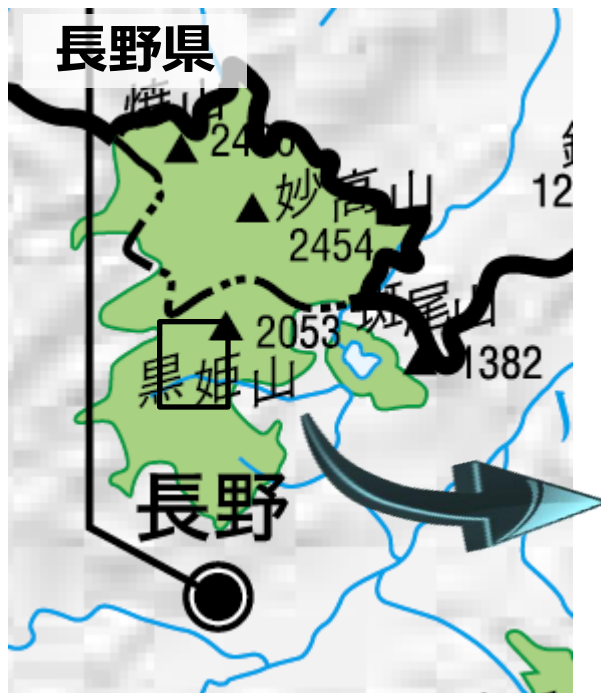
決定

路線距離：4.0km

執行予定：長野市

第2種特別地域、第3種特別地域（国有林→長野市借地）

ダケカンバ・ブナ、ネズコ林
（貴重な高山植物等はない）



- 日本百名山の高妻山への比較的新しいルート
- 「弥勒尾根」と呼ばれる尾根筋の急勾配
- 黒姫山や飯縄山方面の眺望に優れる

戸隠山北部の利用の促進

既存施設の把握（歩道）

路線距離：4.0km

執行予定：長野市



【長野市】踏分け道の刈払い、簡易な標識の整備
戸隠牧場の歩道合流点（標高1,230m）から
五地藏山の一不動歩道分岐（標高1,998m）までの尾根道

妙高戸隠連山国立公園 天狗原奥西山線道路（歩道）

決定

路線距離：3.0km

執行予定：長野市

第2種特別地域、第3種特別地域（国有林→長野市借地）

ダケカンバ、ヤマハンノキ、
ネマガリダケ等
（貴重な高山植物等はなし）



- 観光拠点である**奥裾花自然園**を起点
- 初夏のミズバショウ観察や秋の紅葉狩りが主
- 近年では軽登山も盛んになり**利用者増加傾向**
- 戸隠連峰の西斜面や北アルプス方面の展望

新たな地域資源としての活用

既存施設の把握（歩道）

路線距離：3.0km

執行予定：長野市



【長野市】踏分け道の刈払い、簡易な標識の整備
奥裾花自然園（公園外）の後背地である奥西山（標高1,616m）から
堂津岳（標高1,926m）へ至る標高2,000m未満の尾根筋の道

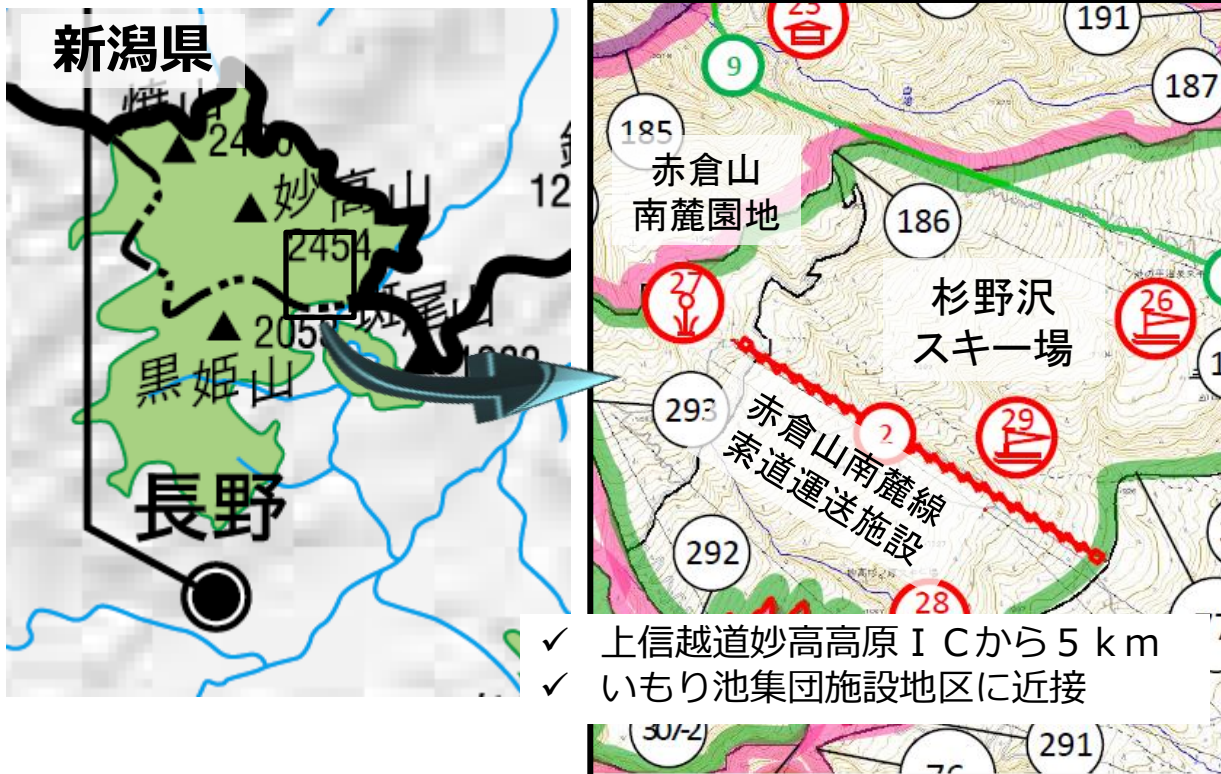
妙高戸隠連山国立公園 赤倉山南麓園地

決定

区域面積：3.0ha
執行予定：妙高市

第2種特別地域、第3種特別地域(国有林→妙高市借地)

ダケカンバ、サワグルミ、ヤマハンノキ
ネマガリザサ、ユキツバキ、ミズバショウ



- 妙高山の南東方向の標高1,500m程の山麓にある湿地帯
- 初夏には一帯にミズバショウが咲く
- 背後には赤倉山の岸壁を望見。好天時には富士山を望む

新たな地域資源

園地の整備（木道、チップ敷）

区域面積：3.0ha

執行予定：妙高市

- 延長 = 1, 6 km
- 幅員 = 2. 1 m
- 要所に木製ベンチを配置
- 原則湿地を避け、支障木、切盛なし
- 想定滞留人数・時間 = 200人・1h
→キャパシティ十分



ミズバショウ群落

妙高戸隠連山国立公園 赤倉山南麓線索道運送施設

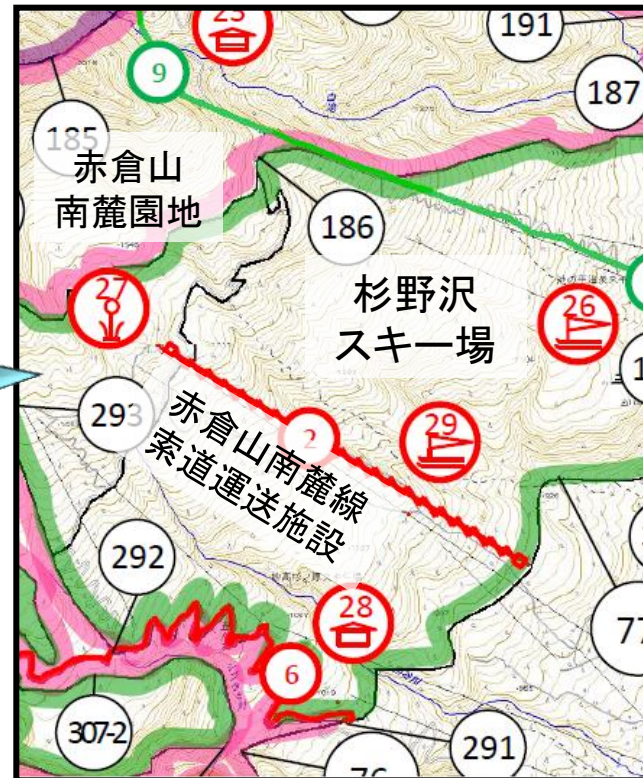
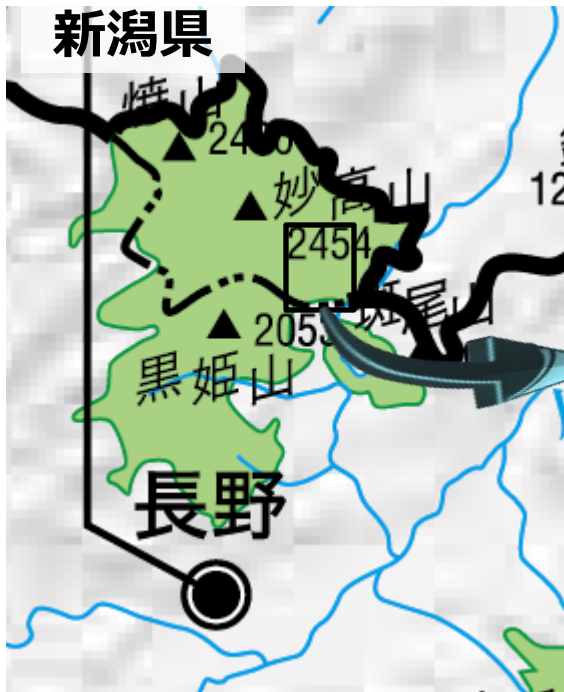
決定

路線距離：3.1km

最大輸送量：3,000人／時

執行予定：民間

第3種特別地域(国有林・財産区→民間借地)



- 既設ゴンドラを活用しトレッキング利用者の利便性向上
- 冬季のスキー利用に加え、夏期に冷涼な高標高域へ誘導

夏季の新たな利用形態

既存施設の把握（スキー場のゴンドラ）

路線距離：3.1km

最大輸送量：3,000人／時



- 標高：起点807m 終点1,483m
- 斜距離：3,074m
- 搬器数：112台（8人乗り）
- 利用見込み：6,320人（8月）



妙高戸隠連山国立公園 いもり池集団施設地区2件

決定

園地 9.9ha（妙高市）

V C 1.0ha（新潟県）

第1種・2種・3種特別地域（県有地、市有地）



- 妙高山の東山麓「池ノ平」
- シラカンバ林といもり池が主な景観要素
- ミズバショウ、ミツガシワなどの湿性植物が豊富



- 妙高戸隠連山NPのエントランスとしてV Cなどを整備
- いもり池での自然探勝、山麓域のトレッキング。豊富な温泉
- 冬季のスキー利用＝年間85万人

利用者数

H24：51.7万人

H23：51.3万人

既存施設の把握（園地・VC）

園地 区域面積：9.9ha 執行者：妙高市

V C 区域面積：1.0ha 執行者：新潟県



園地



- 妙高高原ビジターセンター：平屋建 423m²
- 園地：芝生広場4,980m²、遊歩道1.6km、休憩舎3棟、公衆便所1棟
駐車場2,698m²、売店1棟、ベンチ、案内板 等

妙高戸隠連山国立公園 戸隠集団施設地区 3 件

決定

歩道：1.7km

宿舎：133ha・5,050人

駐車場：1.5ha

第2種特別地域（国有林→長野市借地、私有地）



- 戸隠山や高妻山の南東山麓
- 越水……ミズナラ、ダケカンバ等の森林
- 中社……宿舎等が多く整備され、散策や登山の拠点
- 宝光社…戸隠神社を中心とした門前町としての町並み

**観光客入込数
（戸隠高原全体）**
H26：1,197,100人
H25：1,163,200人

既存施設の把握（歩道・宿舎・駐車場）



決定規模

歩道（長野市）

路線距離：1.7km

- 踏み分け道の刈り払い
- 簡易な標識の整備

宿舎（民間）

区域面積：133ha

宿泊者数：5,050人

- 越水：民宿23軒
- 中社：旅館19軒、
民宿21軒
- 宝光社：旅館4軒
- 現状：3,514人／日

駐車場（民間）

区域面積：1.5ha

- 駐車場1.5ha
- 付帯管理棟等

施設概況

上信越高原国立公園

廃止

55. 飯縄山南麓宿舎

第2種・第3種特別地域

区域面積：22ha

93. 菅川排水施設

第2種特別地域

区域面積：5.4ha

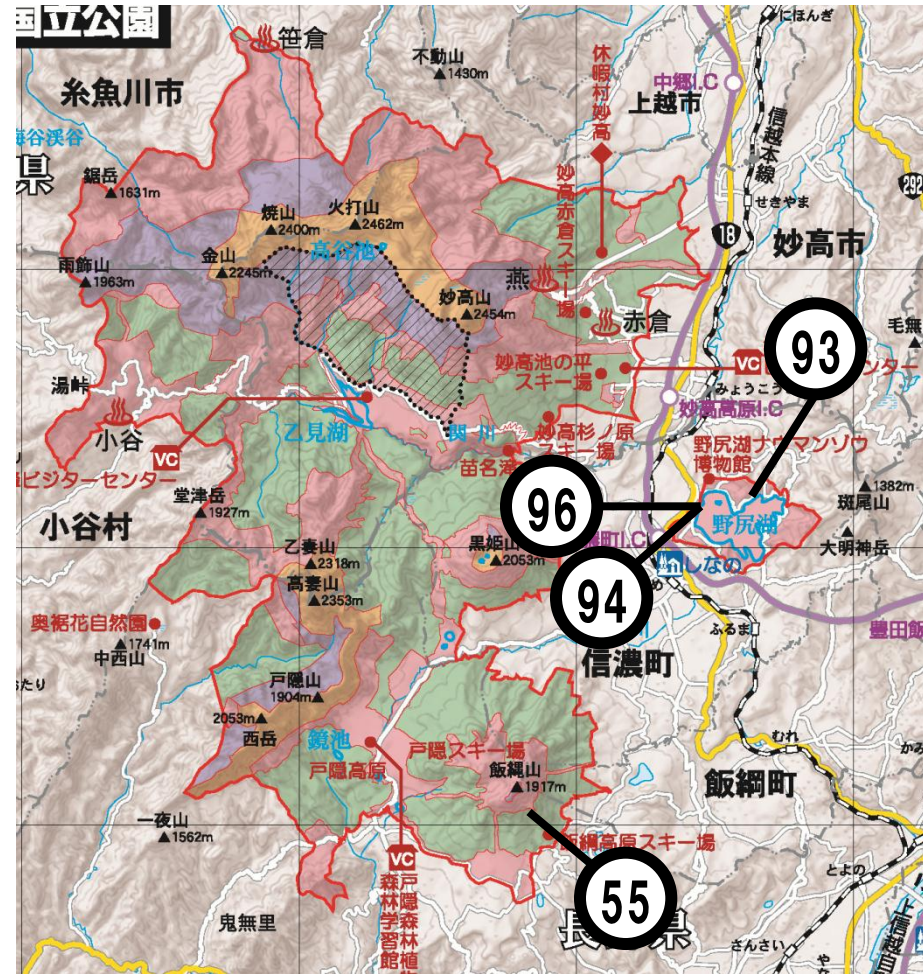
94. 野尻湖西部排水施設

第2種特別地域

区域面積：79ha

96. 野尻湖西部水族館

第2種特別地域

区域面積：600m²

決定後に施設が整備されず、今後も整備予定がないため、
妙高戸隠連山NPへスライドせず単純廃止

支笏洞爺国立公園

札幌中山峠線道路（車道）変更

路線距離：23km

有効幅員：一部7.5m→14m

執行者：北海道開発局

第1種特別地域、第2種特別地域、普通地域（国有林、私有地）



定山溪利用者数：
年間**200万人**以上

定山溪
温泉

始点：一の沢
（公園境界）

薄別

後半はエゾマツ・トドマツ・
エゾイタヤ・ミズナラ等から
成る針広混交林を通過

- 札幌市の中心部より、**定山溪温泉**を経て、洞爺湖、道南方面へと至る主要幹線道路（国道230号）
- 薄別（うすべつ）～中山峠間は広大な自然林の中を通過しており、沿道の森林景観を楽しむことができる。

終点：中山峠

札幌市街



札幌中山峠線：北海道開発局が整備、事業執行

- 札幌から定山溪温泉、洞爺湖、道南など、北海道内の主要利用拠点を結ぶ道路
休日の日交通量は約3万台/日。混雑度は「2.56」※ →さらに上昇傾向
- 特に休日の交通渋滞が著しく、交通交雑に起因する人身事故も毎年発生
正面衝突や追突による事故の割合が非常に高い



定山溪付近の道路渋滞

- ・ 慢性的な渋滞
- ・ 交通安全上の問題



対策が必要

※混雑度

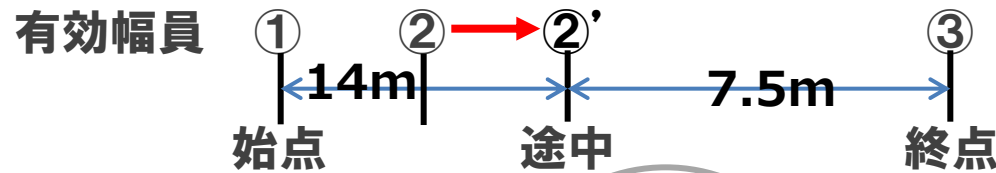
現道の交通状況进行评估する指標。

数値が1.0以上の場合、その道路の交通容量を超えたことを意味し、本来の道路機能を保つには何らかの対策を要することを意味する。

1.75以上で慢性的な混雑状態を呈するとされる。

変更内容

：4車線区間の延長（現道の拡幅：2→4車線）



札幌市街
←

定山溪温泉



定山溪温泉

市街化区域
(2特・普通)

①始点：一の沢
(国立公園境界)

従前の②
(始点から2.5km)

変更後の②'
(始点から5.3km)

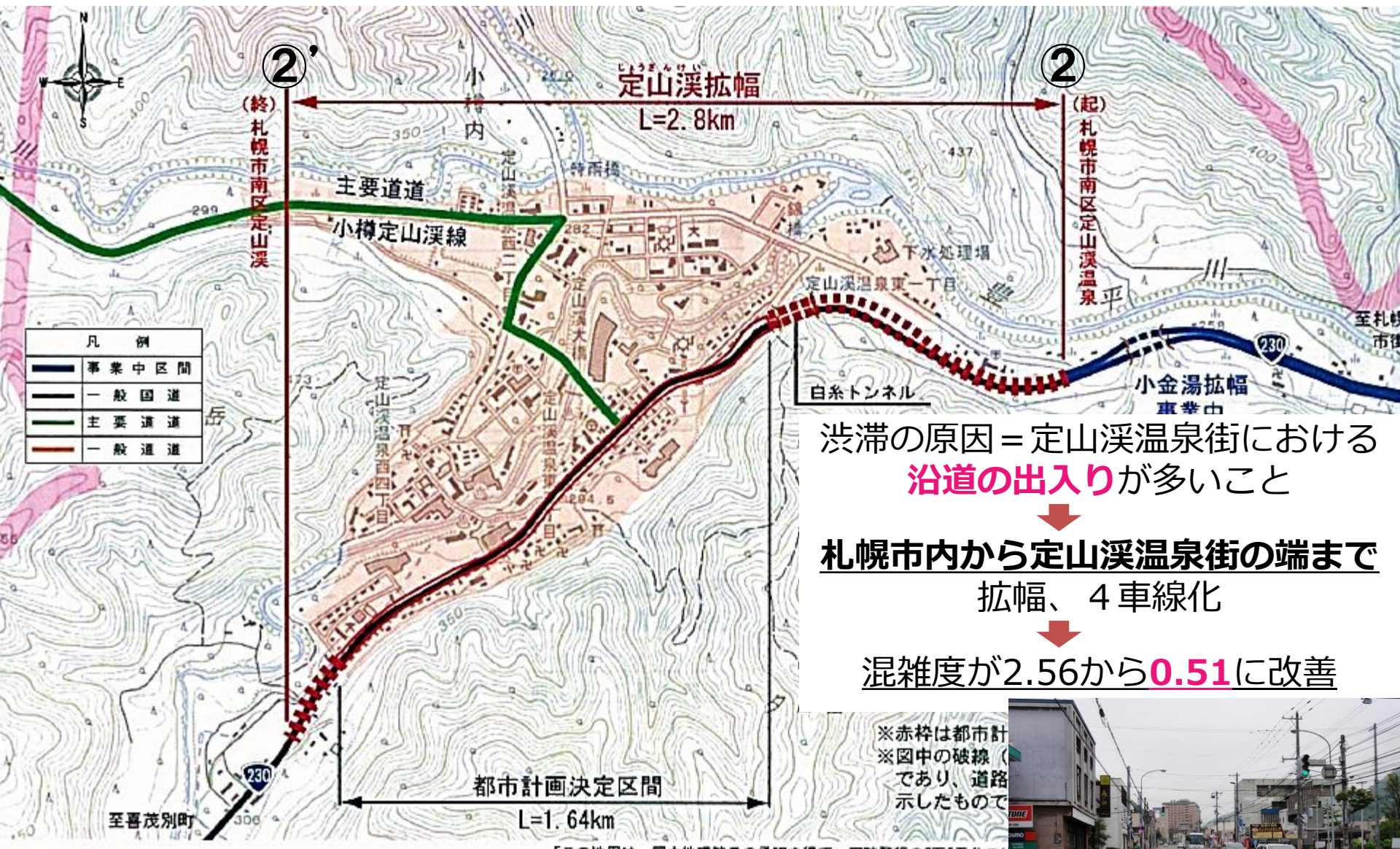
薄別

薄別(以降1特内)

定山溪



1. 札幌中山峠線道路（車道）【変更】



渋滞の原因＝定山溪温泉街における
沿道の出入りが多いこと

札幌市内から定山溪温泉街の端まで 拡幅、4車線化

混雑度が2.56から**0.51**に改善

※赤枠は都市計
※図中の破線（
であり、道路
示したもので

拡幅区間は市街化が進んでおり、一部樹林がある部分についても自然度が低く希少な野生生物等は生息生育していない。



三陸復興国立公園 浄土ヶ浜道路（車道）

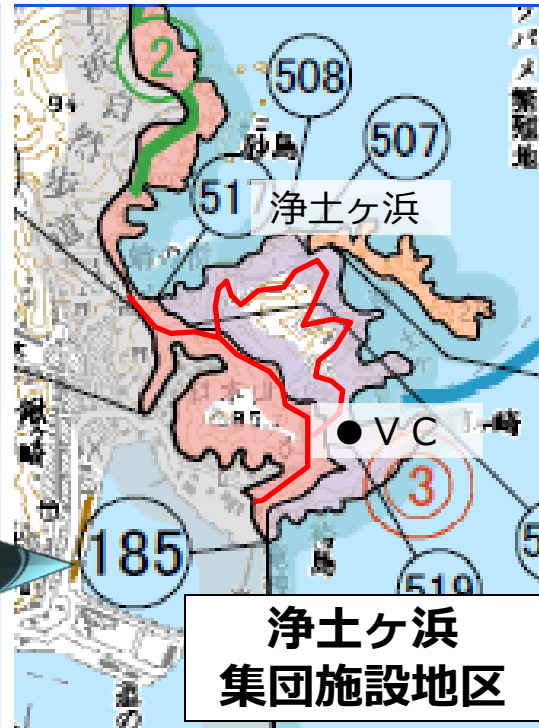
変更

路線距離：4.5km

有効幅員：5.5→8.0m

執行者：岩手県、宮古市

第1種特別地域、第2種特別地域（宮古市有地）



- 国道45号から浄土ヶ浜に至る道路。浸食による鋸刃のような奇岩と白い礫浜の特異景観
- 海岸近くにはアカマツ林が発達、上部にはミズナラを中心とする広葉樹林
- 三陸復興国立公園において最も利用者の多い場所で、**年間100万人程度**が利用





浄土ヶ浜レストハウス
(日最大1000人)

起点

終点

マイカー規制区間
観光バス、タクシー、
許可車両のみ

浄土ヶ浜利用者数

- ・浄土ヶ浜V C：約35万人／年
- ・マイカー規制のため歩いていく

変更内容：歩車分離のための既存車道の拡幅（+4m）

- 本車道は、公園利用者の**散策ルート**としても使用されているが、**歩車分離**となっておらず、車両と利用者の接触の可能性がある。
- **津波避難路**としても指定されており、円滑な避難を可能とするため、十分な幅員を持った**車道付帯の歩道**の整備が必要。

歩道：片側幅員2.0m + 排水工 + 防護柵 = 4.0m



※決定規模は5.5m→8.0m

十分な歩道幅の確保



- 森林内の快適な散策
- 津波時の円滑な避難
- 道路脇の盛土斜面が影響
- アカマツ・ナラ等の広葉樹林帯が含まれるが伐採は必要最小限
- 盛土斜面は在来種により修景

磐梯朝日国立公園 志田浜宿舎

変更

区域面積：4.0ha→7.0ha

宿泊者数：300人→600人

執行者：民間→民間（売却）

第2種特別地域（私有地）

福島県



- 猪苗代湖の東湖畔に位置
- 国道、高速IC、JR猪苗代湖畔駅に近接しアクセス良好
- 北部：
 - 林床が管理されたアカマツ林と自然植生のコナラ林（防風保安林）
- 南部：
 - ホテルなど建築物が密集し土地利用が発達

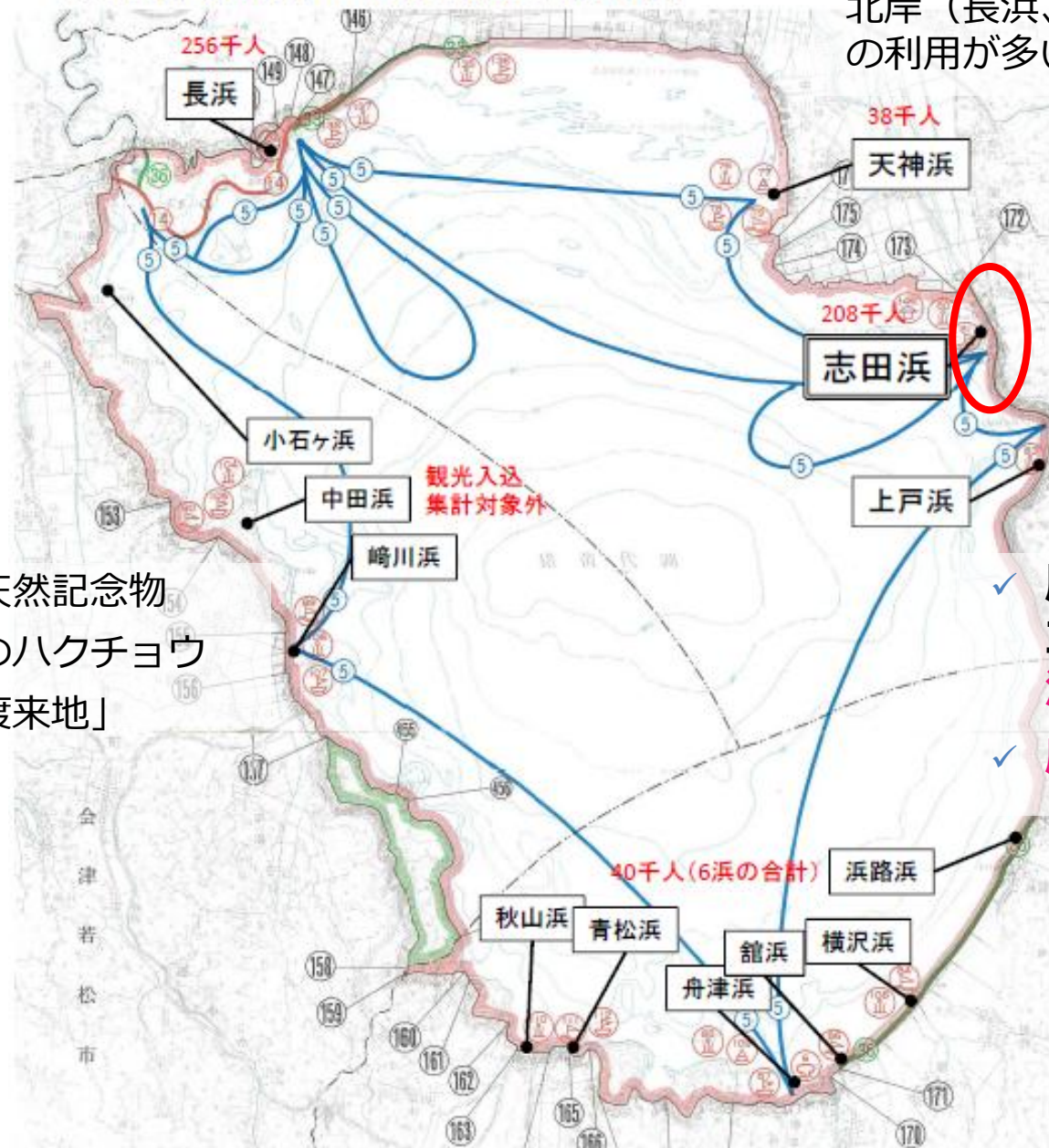
夏：湖水浴、ボート乗り、キャンプ

冬：ハクチョウ・しぶき氷見物

志田浜利用者数
20万人／年

②猪苗代湖沿岸の利用地点と利用者数

国道49号に近くアクセスの良い
北岸（長浜、天神浜、志田浜）
の利用が多い



今回事業地

問題点

- ✓ 風景鑑賞のための立ち寄りが主体で滞在時間が短い
- ✓ 廃屋で風致が悪い

変更内容：宿舎の再整備のための区域拡張と宿泊者数拡大

- 事業地はホテル1軒以外は営業しておらず、湖畔に並ぶ土産物屋は**すべて閉鎖して廃屋**となっており風致上の支障が大きく、改善が必要
- **北部の松林**はホテル管理のパークゴルフ場となっているが、**利用はほとんどない**



福島の子どもに屋外の遊び場を
「ふくしまこどもプロジェクト」

新たな事業者が一带の土地建物を購入→一体として再整備

- 再整備による**廃墟群の撤去**で風致及び利用環境の大幅な改善
- **湖畔広場の整備**や**アクティビティの提供**により利用者の増大
- 食堂や売店等の施設の充実により利便性・快適性の増進に大きく寄与

変更内容：宿舎の再整備のための区域拡張と宿泊者数拡大

- ・ 保安林の開発は行わず、既存施設の跡地に新施設を整備
- ・ 森林内に整備する場合も、支障木の伐採は最小限とし、国道や湖岸からは望見されないレイアウト
- ・ 宿泊定員を300名から600名に増加させるが、汚水等の処理は公共下水道へ接続するため、湖の水質に影響なし

※現行は決定規模<5.0haのため詳細区域なし

国立公園内
(2特)

現行事業者の執行区域
1.67ha<決定規模4.0ha

拡張後の執行予定区域
6.9ha

林間広場
(極力木を残す)

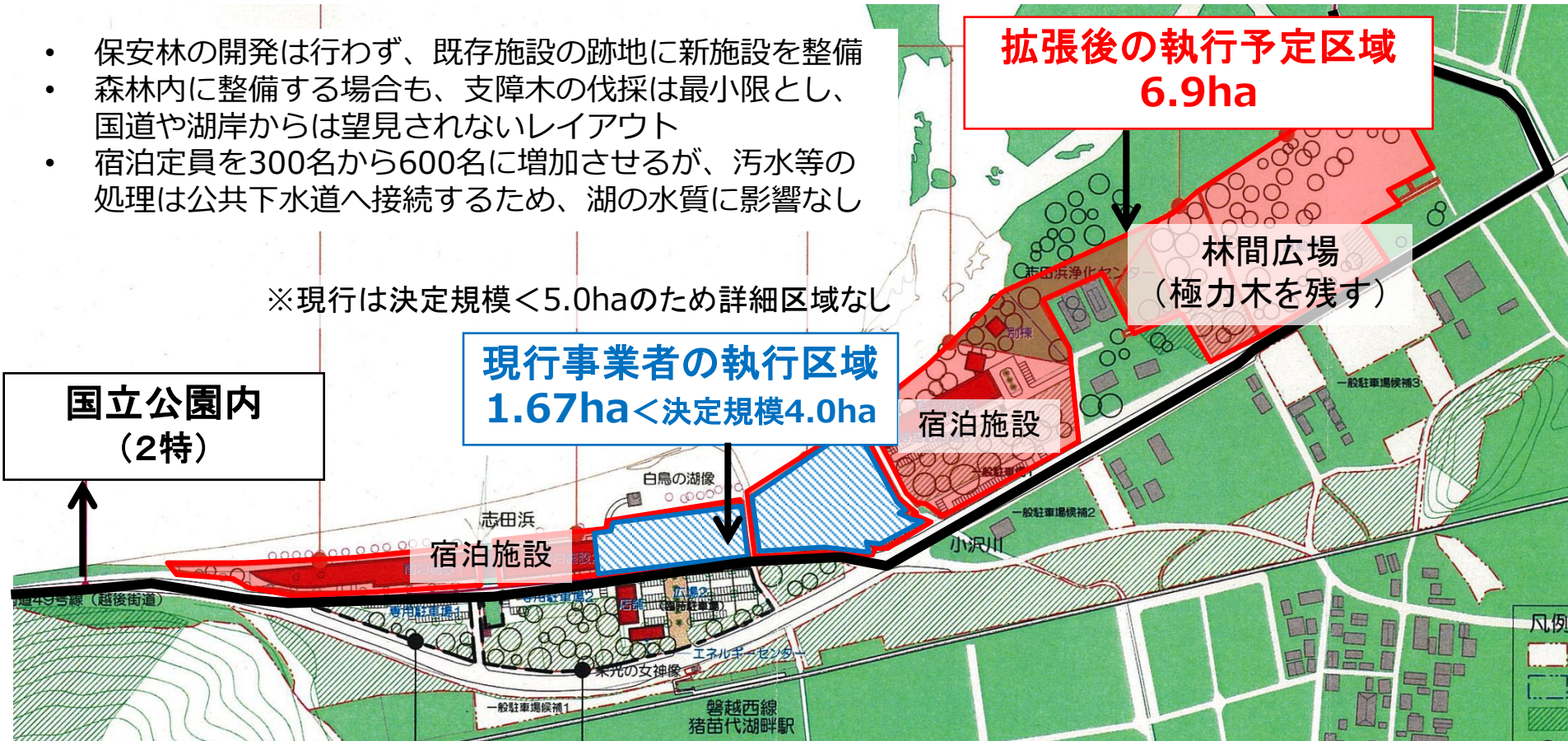
宿泊施設

志田浜
宿泊施設

区域面積（最大宿泊者数）

4.0ha（300人）→7.0ha（600人）

決定規模
の変更



上信越高原国立公園

高峰宿舎・高峰スキー場

変更

区域の入替え
民間が執行

第2種特別地域、普通地域(国有林・嬬恋村有林→民間借地)



- 上信越高原国立公園の核心地域である浅間山に隣接
- 浅間山系への登山拠点。近年利用者が増加。
- 特に秋の紅葉シーズンの利用者大。**駐車場不足も課題**
- 高地トレーニング用ランニングコースの整備計画があり、**利用者の増加見込み**

登山利用者
2～3万人（黒斑山）



- 老朽化した既存宿舎を高峰スキー場の臨時駐車場内に建て替えを計画**
- 現在宿泊施設のある場所は、スキー場駐車場として利用される他、夏場は登山者の駐車場としても利用

宿 舎 : 9.0ha (400人/日) → 3.3ha (350人/日)
スキー場 : 100ha → 101ha

※改めて実測し数値を精査した結果



既設宿舎

当該事業地は変更なし

秩父多摩甲斐国立公園 日の出山宿舎

決定

区域面積 : 0.05ha

最大宿舎数 : 19人/日

執行予定 : 日の出町

第2種特別地域(町有地)

東京都



日の出山利用者数
192,419人 (H24)



- ・ 滝本駅から御岳山駅まで御岳山ケーブルカーを利用
- ・ 武蔵御岳山を經由して首都圏自然歩道線道路(歩道)を約2km南東方向へ

- ・ アセビ、シャクナゲ、ヤマザクラ、カエデ類の広葉樹
- ・ スギ・ヒノキ人工林

- 日の出山登山、御岳山や武蔵御岳神社への参拝、温泉利用等
- 日の出山山頂からは関東平野を一望。山頂付近は日の出山園地(東京都)
- 日の出町、青梅市、あきる野市方面へ向かう複数の登山道が整備

既存施設の把握（町営の山小屋）

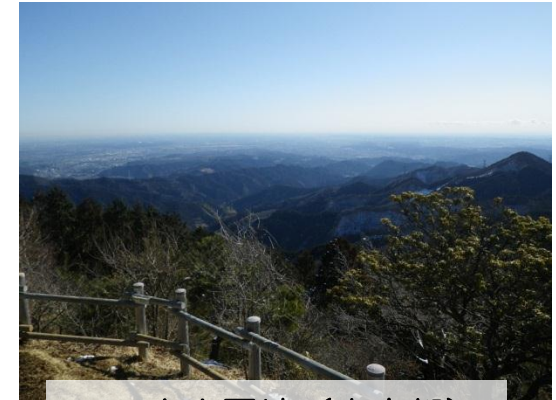


- 建面積：123.96㎡
- 収容力：19人／日
- 付帯倉庫、マキ小屋

老朽化した外壁等
の改修を予定

区域面積：0.05ha

執行予定：日の出町



日の出山園地（東京都）



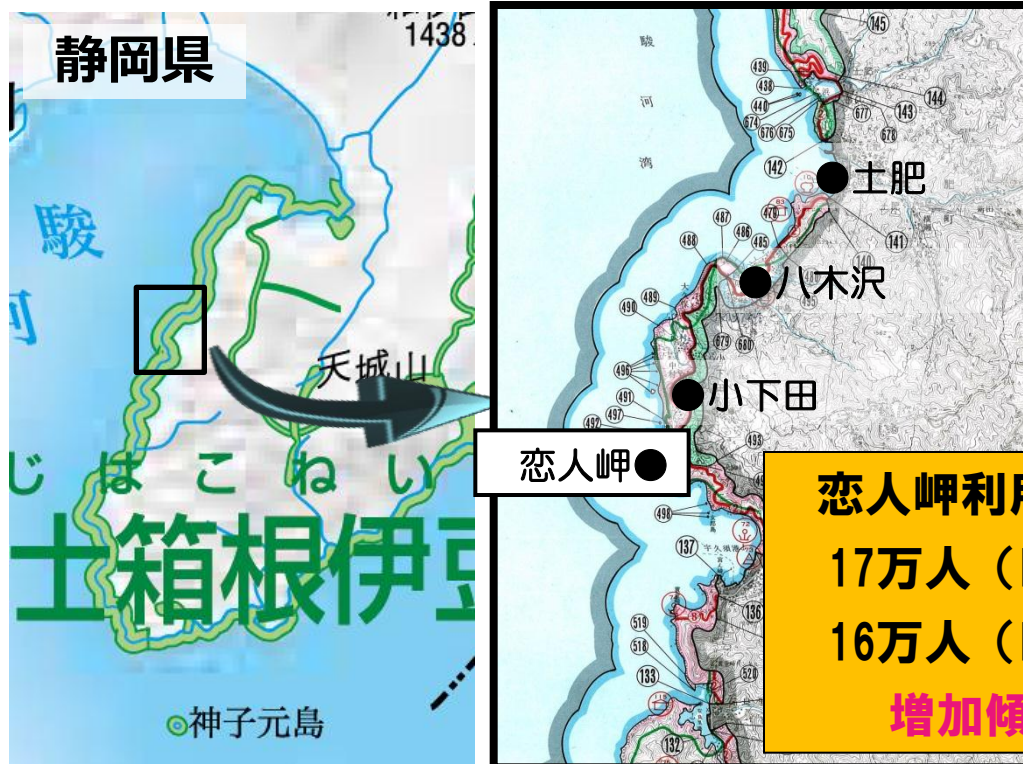
富士箱根伊豆国立公園 恋人岬園地

決定

区域面積：2.2ha
執行予定：伊豆市

第2種特別地域(国有林、伊豆市有地、民有地)

スギ、ヒノキ人工林、マツ、クヌギ天然林
海岸部の風衝断崖地にウバメガシ、マサキ



恋人岬利用者数

17万人 (H26)

16万人 (H25)

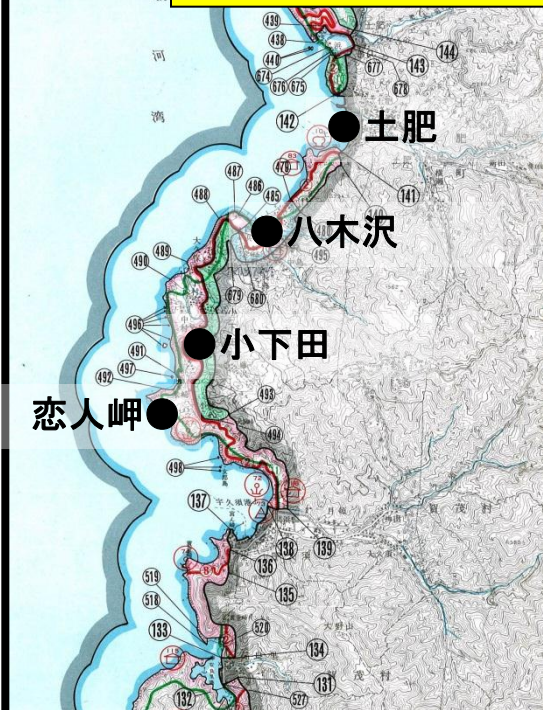
増加傾向

- 富士山を眺めることができる優れた展望景勝地
- 西伊豆海岸における歩道を活用した利用の促進



小下田宿舎→土肥堂ヶ島線(歩道)→恋人岬園地という有機的な連携

小下田宿舎→土肥堂ヶ島線（歩道）→恋人岬園地という有機的な連携



スギ、ヒノキ人工林、マツ、クヌギ天然林
海岸部の風衝断崖地にウバメガシ、マサキ



土肥堂ヶ島線道路
（歩道）

恋人岬



廻り崎コース

（全長3.2km）



既存施設の把握（展望台、園路、管理棟、駐車場等）



富士箱根伊豆国立公園 小下田宿舎

決定

区域面積：1.26ha

宿泊者数：140人 執行予定：民間

第3種特別地域(民有地)

スギ、ヒノキ人工林、マツ、クヌギ天然林
海岸部の風衝断崖地にウバメガシ、マサキ



土肥地域利用者数
(H26)

観光客：80万人

宿泊者：27.7万人

- 富士山世界文化遺産登録以降、海越しに富士山を眺める伊豆西海岸の展望景勝地の利用ニーズ増
- 伊豆西海岸における海水浴、自然散策並びに伊豆半島の周遊の基地として位置づけ

宿舎整備用地

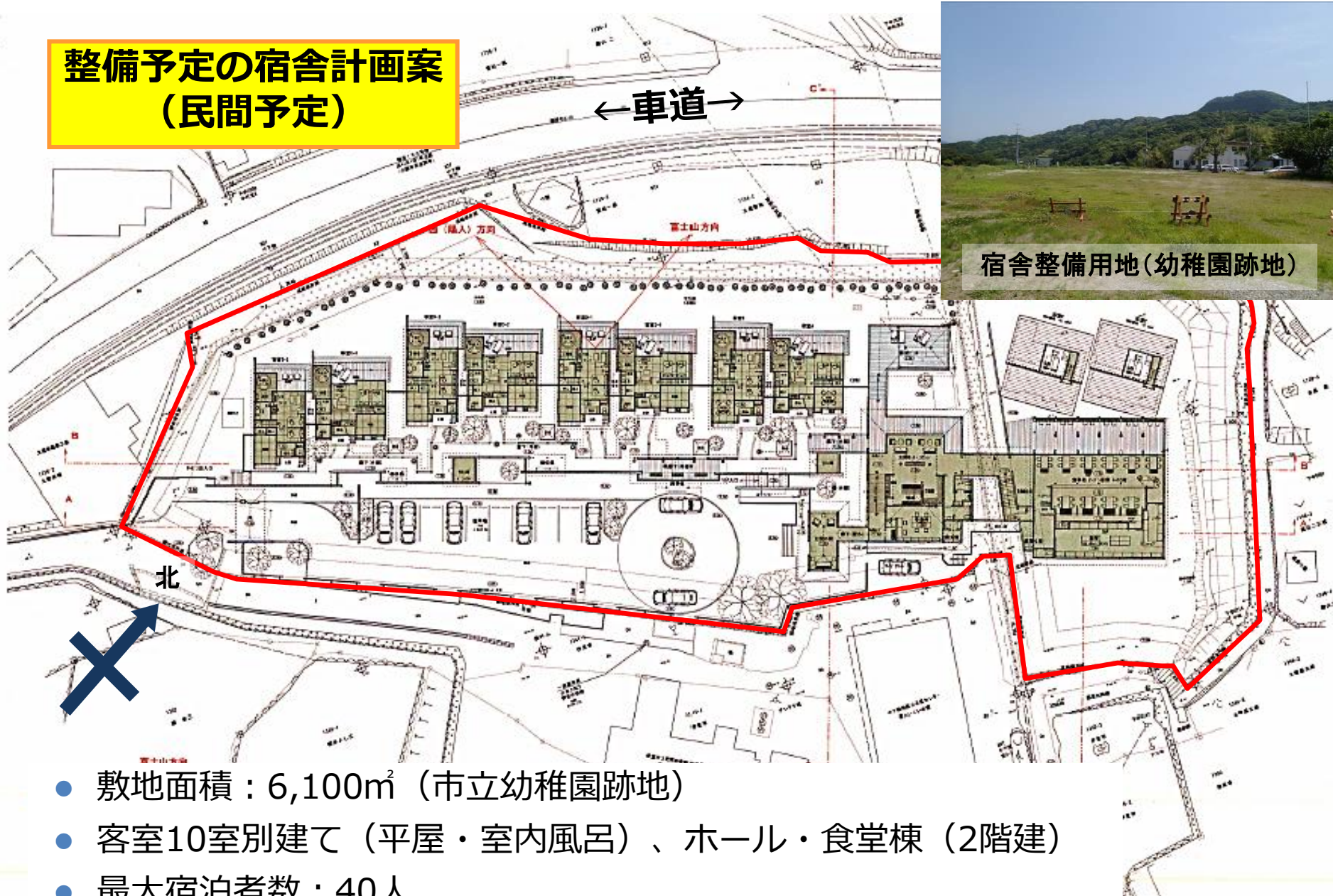


土肥堂ヶ島線(歩道)



利用拠点となる宿舎の整備

整備予定の宿舎計画案 (民間予定)



宿舎整備用地(幼稚園跡地)

- 敷地面積：6,100m²（市立幼稚園跡地）
- 客室10室別建て（平屋・室内風呂）、ホール・食堂棟（2階建）
- 最大宿泊者数：40人

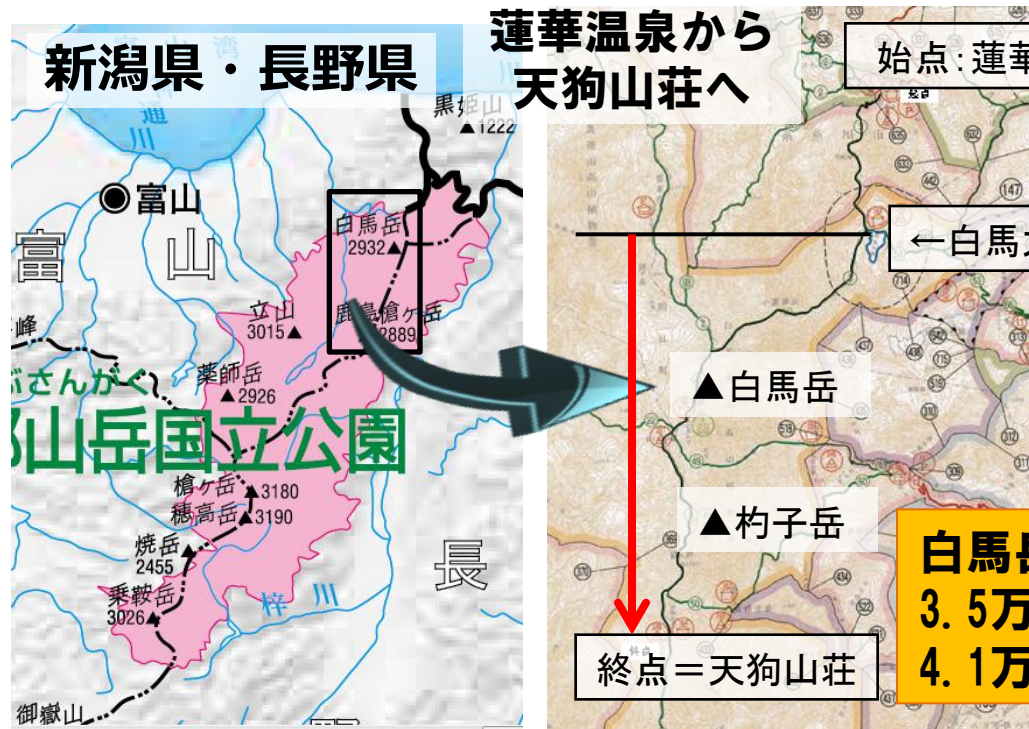
中部山岳国立公園 後立山連峰縦走線道路（歩道）

変更

路線距離：
4km→11km

特別保護地区、第2種・第3種特別地域（国有林）

執行者：糸魚川市、白馬村



白馬岳利用者数
3.5万人（H26）
4.1万人（H25）

- 白馬大池、白馬岳への登山利用が主。
- ベースでの外便所の果たす役割は益々大
- 環境配慮型のトイレを整備し環境改善

白馬大池→天狗山荘まで**延伸**し、
縦走者のための山岳トイレを整備

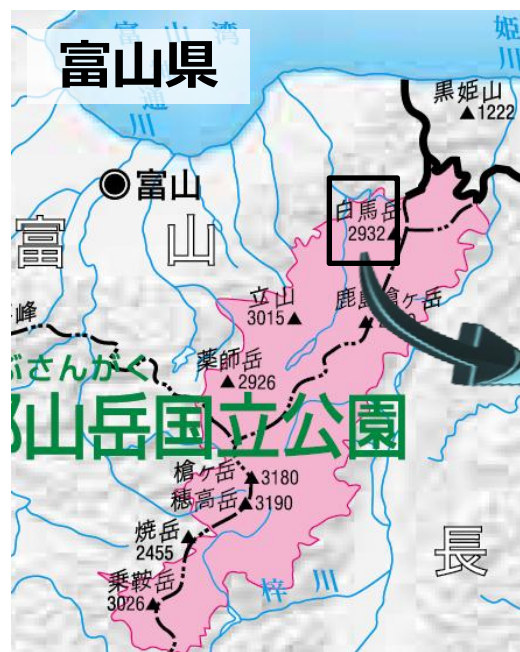
中部山岳国立公園 樺平園地

変更

区域面積：0.8ha→1.1ha

執行者：環境省、富山県、黒部市

特別保護地区（国有林→借地）



- 黒部溪谷鉄道の終点樺平駅に位置。
- 樺平・白馬岳線道路（歩道）等の合流点
- 富山県と黒部市により園地執行

利用者の増大に対応した拡張（黒部市）
安全対策のための落石対策工（環境省）



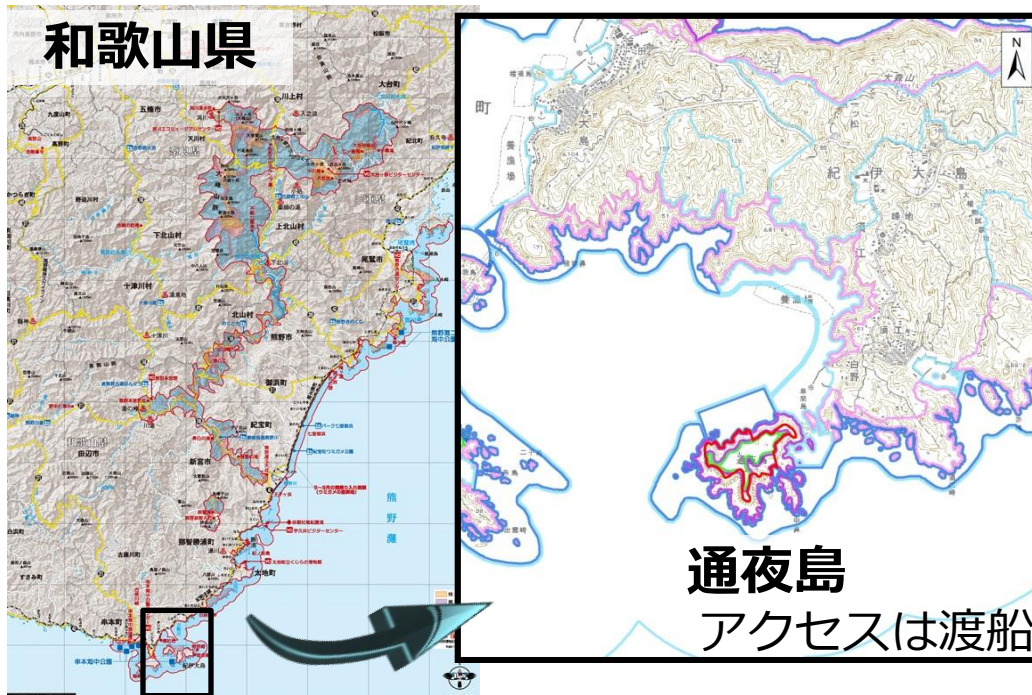
吉野熊野国立公園 通夜島園地

決定

区域面積：13.2ha

執行予定：串本町

第1種、第3種特別地域（串本町有地）



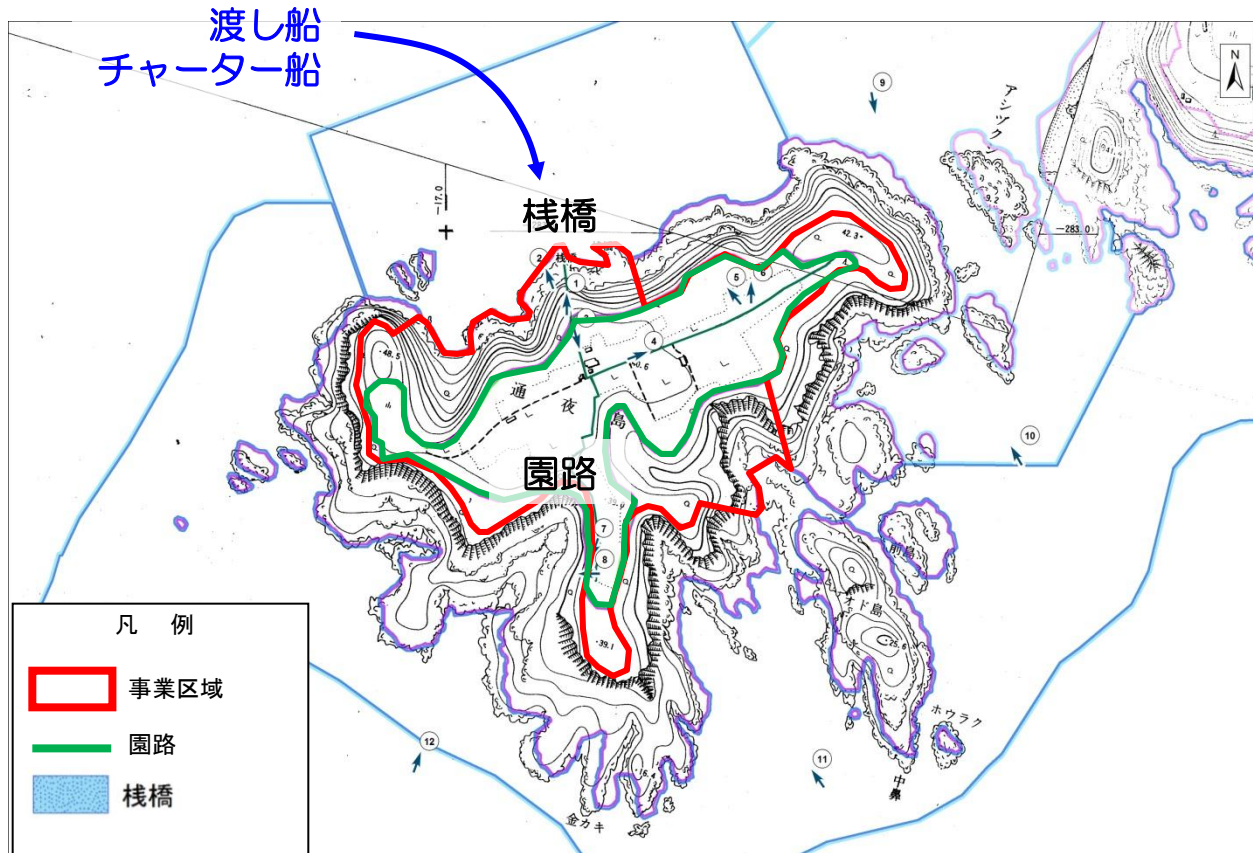
年間利用者数：約2,500人
現在の主な利用形態は海岸での海釣り等であり、利用者の大半が釣客

- 串本大島の南西に位置する無人島
- 周辺は起伏に富んだ海食崖など良好な**海岸景観**。島内には良好な**シイ林**
- 北側の海域は、世界的な希少種であるオオナガレハナサンゴの国内最大、世界最北の群生地があり、**ラムサール条約湿地（串本沿岸海域）**にも登録

自然体験のための園路、栈橋の整備

区域面積：13.2ha

執行予定：串本町



- 無人島である通夜島を丸ごと自然体験の場として整備し、新たなメニューに
- 串本町、観光協会、渡船業者、教育旅行誘致協議会、ジオガイド等が実施主体
- 小学～高校の教育旅行を想定。民泊事業と組み合わせ、シイ林を中心とした自然観察、ラムサール条約登録海域の学習、磯・地形を利用したジオパーク学習等

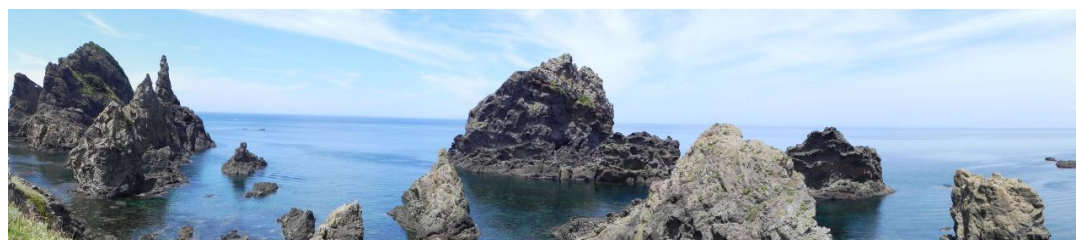
大山隠岐国立公園 赤尾園地

決定

区域面積：0.3ha

執行予定：西ノ島町

第3種特別地域（西ノ島町有地）



国賀浜の海蝕景観

国賀浜の利用者数（H25）
国賀浜園地：約24,000人
歩道：約5,000人
隠岐最大の観光地

- 大山隠岐国立公園を代表する**国賀**の中心、摩天崖や岩礁、洞門、洞穴などを一望できる唯一の場所
- 大型バスによる**定期観光コース**にも位置づけられ、**年間1万人前後**の利用者



国賀巡り定期観光バス

コース：浦郷港→赤尾展望所→摩天崖又は国賀浜→由良比女神社→浦郷港

時 間：1時間40分

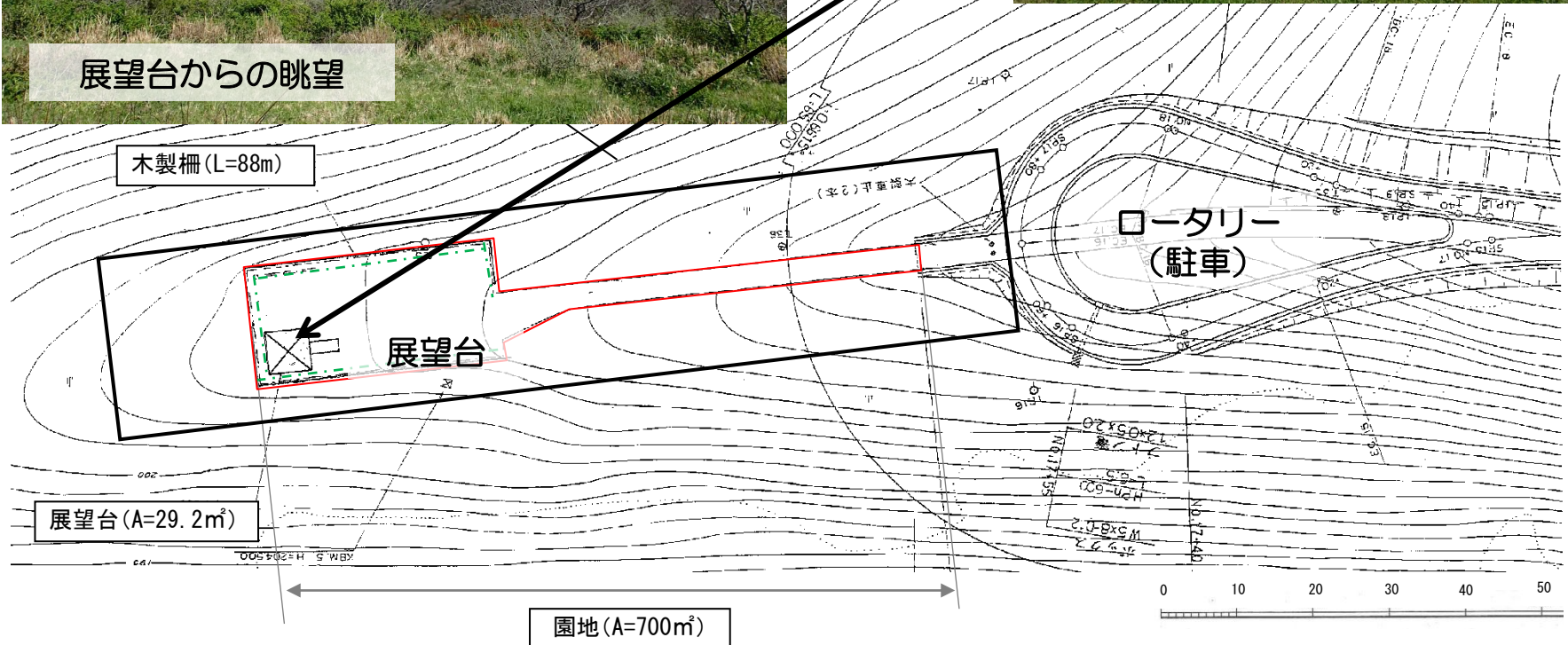
期 間：4月1日～10月31日

※本土連絡船の発着は別府港のため、浦郷港まで路線バス又はタクシー等で移動する必要あり。

既存施設の把握（展望台）

区域面積：0.3ha

執行予定：西ノ島町



西海国立公園

しじきみやのうら

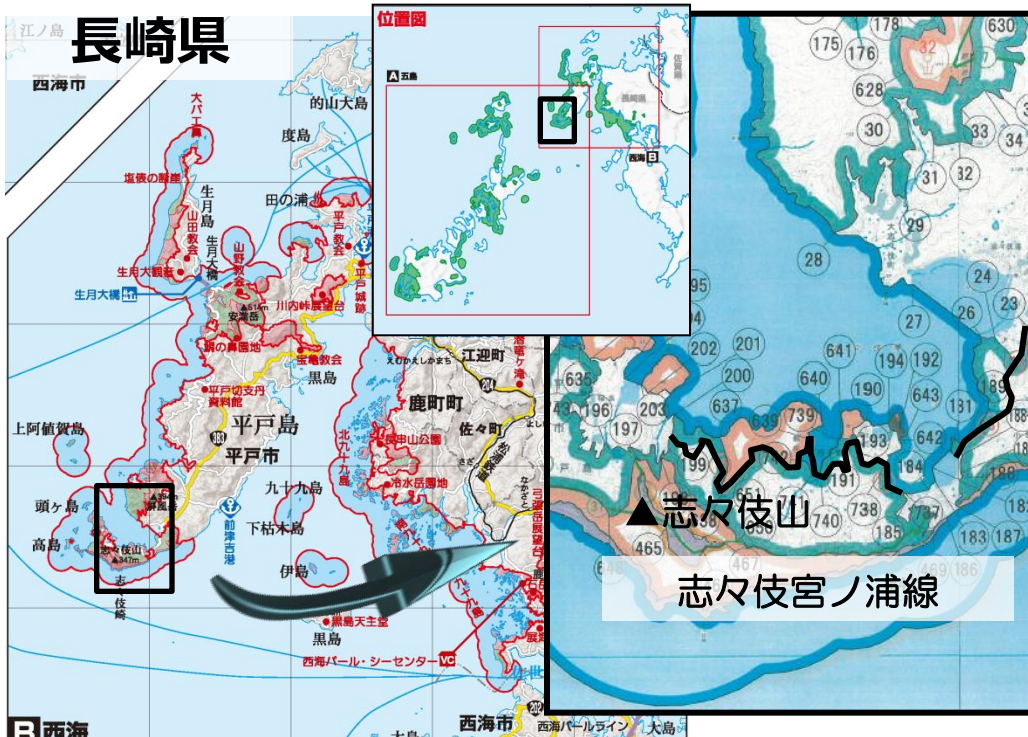
志々伎宮ノ浦線道路（車道）

変更

線形の変更

執行者：長崎県

第2種・第3種特別地域、普通地域（県有地、民有地等）



- アラカシ、スダジイ主体の常緑広葉樹二次林
- 一部スギ、イヌマキ植林、耕作地・休耕地



阿値賀島



阿値賀島

利用量

交通量：901台/日 (H22)

志々伎山登山者数：2,000人

- 長崎県本土から平戸大橋を渡り平戸島最南端の宮ノ浦漁港までを繋ぐ、江戸時代以前からの生活・産業道路
- 宮ノ浦漁港を発着点として船釣りをする通過型利用者が多数
- 西南西に約 1 km離れた志々伎山には年間約2,000名の登山客がある。

安全対策のための線形変更・トンネル化

路線距離：6km→5.5km
有効幅員：5.5m(変更なし)
執行者：長崎県

黒線：現行の線形

赤線：線形変更後

トンネル区間

事業区間

戦後成立したアラカシ、タブ、スダジイ、マテバシイ、イヌビワなどの二次林とスギ植林が主であり、風致景観上、自然環境保全上の支障はない

- 平戸島南部の向月集落から福良集落にかけての山際を走り、見通しも悪い**利用上危険**な区間
- **500mのトンネル**で直線化するとともにその取付け部分のバイパス整備

雲仙天草国立公園 雲仙温泉園地

変更

区域面積：29.0ha→29.1ha

執行者：環境省、長崎県、雲仙市

第1種・第2種特別地域（環境省、国有林、長崎県、雲仙市有地、私有地等）



八万地獄

利用者数

雲仙温泉集団施設地区
142万人（H24）



雲仙温泉街の
町並み

- 雲仙岳の西南麓、絹笠山・矢岳の間にある雲仙温泉街の中心部
- 雲仙地域の核心地域であり、雲仙温泉集団施設地区に指定
- 温泉と雲仙地獄・温泉街の散策、原生沼や鴛鴦の池等の散策が主

A地点(雲仙お山の情報館)からの
距離(所要時間)消費カロリー

島原半島東方面・北方面からのアクセス
ルート(島原雲仙線)が集団施設地区に
入るエントランス

今回追加区域

長崎県執行のトイレ

園地事業の範囲

長崎県執行の公園

温泉山(雲仙)史跡・歴史散策マップ

クリーン雲仙、来たときよりも美しく、ゴミは持ち帰ろう!

A 雲仙お山の情報館(Free Wi-Fi) TEL0957-73-3636
雲仙の自然・歴史・温泉・火山などの無料の案内所
開館時間: 9時~17時 休館日: 毎週木曜日
☆自然・登山ガイドパンフレット等 配布

B 雲仙お山の情報館・別館(無人) (Free Wi-Fi)
雲仙の歴史パネル等の展示、美味しいドールコーヒー(自販機)
開館時間: 9時~17時 年中開館

雲仙市執行の休憩所等

C 雲仙温泉観光協会 TEL0957-73-3434
観光案内、雲仙旅館・ホテル宿泊のご案内

D 湯の里共同風呂 (9時~23時)
利用料金: 大人200円・子供100円

E 雲仙新湯温泉館 (9時~23時 定休日: 毎週水曜日)
利用料金: 大人100円・子供50円

F 雲仙よか湯 (9時~21時)
利用料金: 大人400円・子供200円

☆森の美術館 in 雲仙 TEL0957-73-3482

G 小地獄温泉館 (9時~21時)
利用料金: 大人400円・子供200円

● 足湯スポット

雲仙自然保護官事務所

環境省執行の公園

雲仙市執行の園路(車道・歩道)

温泉山(雲仙)史跡・歴史巡り

雲仙は、かつて「温泉山」と書き「うんぜんざん」と呼ばれていました。比叡山や高野山より古い歴史がある山岳修験・仏教の女人禁制の霊山でした。

島原半島には、当時の繁栄していた仏教文化の史跡や伝承が数多く残っています。その内、雲仙周辺の史跡をいくつか紹介します。

このトレイルマップを片手に散策され、温泉山の奥深い歴史をお楽しみ下さい。

マップ片手に、心地よい自然の中を歩いてみよう!

雲仙最新情報はインターネット検索: Facebook 雲仙お山の情報館



宿舎跡地を園地として再整備

区域面積：29.0ha→29.1ha

執行者：環境省、長崎県、雲仙市



宿舎撤去前



撤去後跡地

工事内容

- 雲仙地獄から流れる温泉を活用した**親水（温泉）水路**を設置
- 親水水路を中心に、散策通路や案内板、植栽や休憩施設等の**休憩広場**を整備
- 景観の改善のため、電柱の移設や外灯の整備等も実施

- **宿舎跡地**を雲仙市が取得し、**園地として再整備**
- 隣接する駐車場の利用者をはじめ、温泉街の街並みや鴛鴦の池、雲仙地獄、日帰り浴場、レストラン等を散策する公園利用者に対し、絹笠山に抱かれた古湯地区の街並みの景観を眺めながら休憩する場所として利用を促す

阿蘇くじゅう国立公園 猪の瀬戸園地

決定

区域面積：34ha

執行予定：民間

第1種特別地域（民有地）



び公園計画図



利用者数

交通量：2,578台／日（H22）

直近ホテル：年間45,000人

由布岳登山：年間10万人以上

- くじゅう地域北部の由布岳と鶴見岳の間に広がる**中間湿原**
- 放棄により乾燥化、樹林化が進行していたがH24から野焼きを再開し**湿原再生**
- 観光道路「やまなみハイウェイ」が中央を貫き**交通量は大**

既存施設の把握（湿原と散策路）

区域面積：34ha

執行予定：民間



- 土地所有者と地元NPOにより、保全作業用の道を改良して**自然散策路**を設置
- 別府市を中心に自然観察会を実施し、湿原の解説や保全の普及啓発を実施
- サクラソウやオオキツネノカミソリの群落が復活。保護と利用の推進。

慶良間諸島国立公園 阿嘉西海岸線道路（歩道）

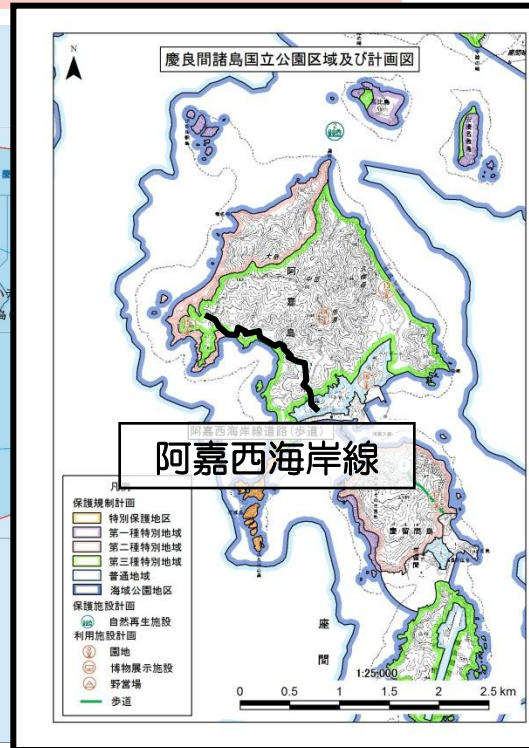
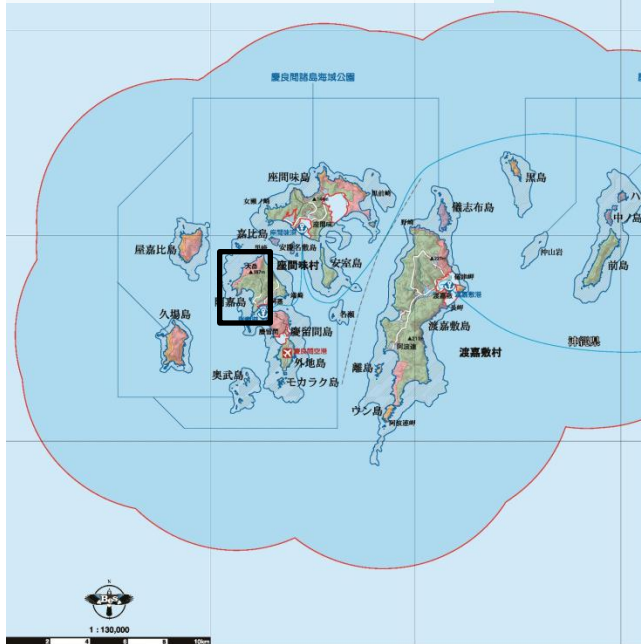
決定

路線距離：1.9km

執行予定：座間味村

第3種特別地域（村有地、私有地、字有地）

沖縄県（阿嘉島）



- リュウキュウマツ、タブ、ホルトノキ、オオハマボウなどが密生した常緑樹林
- 海岸の砂浜にはハマゴウやアダマン、モクマオウが生育
- 海岸線はサンゴ砂などからなる白い砂浜が広がっており、海域にはサンゴ礁が広がる

現状では歩道としての
利用者はほとんどいない

観光道路として再整備

- 阿嘉島の南西部に位置。阿嘉集落から阿嘉島西側にある海岸に下り、海岸線を歩く
- 近年は、島内を徒歩やレンタサイクルなどで周遊する利用者が増えており、オフシーズンに観光客が散策できるような歩道が少ないなどの課題
- 村が一括交付金を活用して、従来の里道を観光道路として再整備

既存道路の歩道としての再整備

路線距離：1.9km

執行予定：座間味村



- 基本的に既存歩道のルートに沿って整備
- 一部傾斜が急な場所に階段工、雨水による浸食を防止するために管渠工や集水升を整備
- 阿嘉島唯一の歩道路線であり、島内内陸部の森林植生をゆったりと散策できる
- 従来は地元住民しかアクセスしていなかった
阿嘉島西海岸へのアクセス向上
- 北東の風が強まる冬期などにおける、**新たな利用拠点**となりうる路線



慶良間諸島国立公園 阿波連海岸園地

決定

区域面積：4.2ha

執行予定：渡嘉敷村

第3種特別地域（国有地、村有地）

慶良間諸島国立公園

沖縄県（渡嘉敷島）



- ・リュウキュウマツやモクマオウの防風林
- ・サンゴ砂等で出来た白い砂浜
- ・北西側には背の高いクバの純林

阿波連海岸利用者数
10万人/年

- 民宿や食堂、**ダイビング**ショップ等が集まる阿波連地区内に位置
- 周辺海域には、透明度の高いケラマブルーの海に**サンゴ礁**が広がり、離島や岩礁などからなる**多島海景観**

既存道路の把握（展望台、プール）

区域面積：4.2ha

執行予定：渡嘉敷村



- 慶良間諸島の中で最も利用者が多い場所の一つであり、特に夏季は海水浴やダイビング等の利用で賑わう
- 公園指定後に、海外含め**利用者が増加**しており、島の貴重な自然資源であるサンゴ礁等、公園内の自然環境保護と適正な利用の推進が必要
- 特に、ダイビングツアーやシュノーケリングツアーに参加しない**日帰りの海水浴客**が増えたことにより、サンゴの踏みつけ、魚への餌付け、ウミガメの追い回し等の問題が生じており、園地の整備と適正利用の推進が必要

慶良間諸島国立公園 古座間味園地

決定

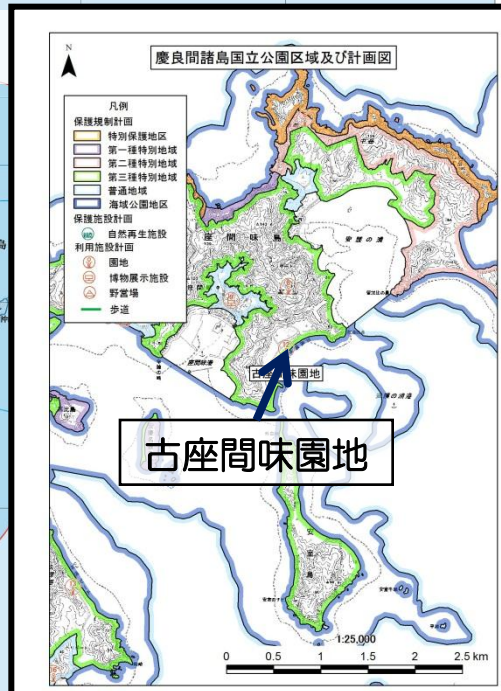
区域面積：4.9ha

執行予定：座間味村

第3種特別地域（国有地、村有地、字有地、私有地）

慶良間諸島国立公園

沖縄県（座間味島）



古座間味ビーチ利用者数
4万5千人/年
(海水浴、シュノーケリング)

- 島南東の海岸沿いに広がる総延長700mほどのビーチを中心とした園地
- 海を隔てて南側には安室島を、4km程先には渡嘉敷島を望む
- サンゴ砂やホシスナのかげらなどからなる白い砂浜が広がり、周辺海域には、透明度の高いケラマブルーの海にサンゴ礁が広がる

既存道路の把握（売店、トイレ、展望デッキ等）

区域面積：4.9ha

執行予定：座間味村



展望デッキ



売店・トイレ



駐車場

- 公園指定後、海外含め島を訪れる利用者が増加。島の貴重な自然資源であるサンゴ礁等を含めて、公園内の自然環境保護と適正な利用の推進が必要。
- 特に、ダイビングツアーやシュノーケリングツアーに参加しない日帰りの海水浴客が増加、利用ルールやマナーを知らないことによるサンゴの踏みつけ、魚への餌付け、ウミガメの追い回し等の問題が発生
- 今後の園地整備と適正利用の推進が必要

慶良間諸島国立公園 阿真野営場

決定

区域面積：4.7ha

執行予定：座間味村

普通地域（字有地、私有地）

沖縄県（座間味島）



利用者数

3,994人（H26）

3,285人（H25）

2,685人（H24）

※キャンプ日最大：130人

- 海を隔てて300m程先に嘉比島や安慶名敷島を、500m程先には阿嘉島を望む
- 周辺海域には、透明度の高いケラマブルーの海にサンゴ礁が広がる
- ビーチはサンゴ砂等の白い砂浜、後背にはアダン林やモクマオウの防風林
- 海岸近くでアオウミガメ等のウミガメが頻繁に観察でき保護活動も盛ん

既存道路の把握（テントサイト、コテージ、管理棟等）

区域面積：4.9ha

執行予定：座間味村



- テントサイトのほかに、公衆トイレ、シャワー設備、コテージも整備
- 阿真ビーチでのシュノーケリング、シーカヤック、ウミガメ観察、夕日探勝等
- キャンプサイトの日最大利用者数は**約130名**
 - + 夏場の最盛期にはコテージ（定員 6 名× 6 棟 = **36名**）も満室
- 利用者は**毎年増加**しており、公園指定後はさらに増加予想